

# としょかんだより

2024年12月5日 手良小学校図書館

## 読書旬間が始まります

来週9日から再来週20日まで、2週間の読書旬間です。最初の3日間は、3冊借りるとしおりが作れるイベントも開催します。本に親しみ、実りある読書旬間にしましょう。

### 朝読書

読書旬間中、朝の活動は読書です。静かに落ち着いて読書に取り組みましょう



### おすすめの本を高遠北小学校のみなさんに紹介しよう

読書旬間中の図書館の時間にみなさんのおすすめの本を書いてもらい、高遠北小学校のみなさんにもらいます。高遠北小学校のみなさんからのおすすめ本もありますよ。

### 先生方のお話の部屋

13日（金）の朝の時間に先生方による読み聞かせがあります。みなさんが希望した本を読み聞かせてくださるのは、どの先生でしょうか？ 会場に着くまでお楽しみにしててくださいね

### ボランティアさんによるお話の会

10日（火）には、読み聞かせボランティアさんによるお話の会が開催されます。

45分間たっぷり読み聞かせを楽しみましょう。

今回も楽しみです



### 家庭読書

読書旬間中は家でも読書をしましょう。家庭読書カードを配付します。本を読んで、読んだ本の題名を書いてください。最終日には感想も書いて、23日（月）に担任の先生に提出しましょう。

保護者のみなさまにも記入していただく欄もあります。お忙しい中ですが、お子さんと一緒に読書を楽しんで頂くなどご協力をよろしくお願い致します

### おはなしコラボ給食

読書旬間中は、物語や絵本に出てくるメニューを給食室の先生方に作っていただきます。どんなメニューが登場するのでしょうか？ おはなしコラボ給食に登場した本は、児童玄関に展示します。また、読書旬間後はぜひ借りてみて下さいね。裏面に本の紹介があります。



9日(月)『科学でナゾとき! わらう人体模型事件』あさだりん/作 偕成社より  
“チキンカレー”

学校でおこるさまざまなナゾ。そのナゾをパーフェクトな児童会長の彰吾と父親で変人の理科教師のキリン先生は科学で無事にナゾをとときあかすことは、できるのでしょうか?



10日(火)『表参道高校合唱部! あなたが生きている今日はどんなに素晴らしいだろう』

櫻井剛/脚本 桑畑絹子/小説 Gakkenより “かき揚げ丼”

コンクールで入賞できなければ、同好会に格下げしてしまいます。合唱部。一体どうなる?!



11日(水)『未来を変えるレストラン つくる責任つかう責任』小林深雪/作 講談社より  
“ラタトゥイユ”

食品ロスを減らすヒントがわかります。物語を通して、SDGsを学べる一冊です。



12日(木)『からすのそば屋さん』かこさとし/作 偕成社より “オモチうどん”

『からすのパンやさん』のつづきのお話です。オモチくんはそばの作り方の修行にはげみました。そして、楽しいおそばがいっぱいのお店を開きます。ご来店お待ちしております。



13日(金)『パンどろぼう』柴田ケイコ/作 KADOKAWAより “ホットドック”  
まちのパンやから サササッとびだす ひとつのかげ…。

パンがパンをかついで にげていきます。パンどろぼうの正体は? 一体何者なののでしょうか?!

16日(月)『徂徠豆腐』宝井夢調/文 福音館書店より “おからの煮物”

はたらき者のとうふ屋七兵衛さんは、お豆腐好きだけでも、お代を払うにもこまっているおさむらいに出会います。こまっているおさむらいを放っておかず、少しでも元気づけようと毎日おからをさしいれることにしました。この後どうなるのでしょうか?!



17日(火)『うかぶかな? しずむかな?』川村康文/作 岩崎書店より “三色野菜揚げ”

なぜ、うかぶかな? どうして、しずむかな? おもしろく科学を伝えてくれる絵本です。

今回、給食に登場するかぼちゃ・ピーマン・人参は、うかぶのでしょうか? しずむのでしょうか?

18日(水)『ナンシー探偵事務所 呪いの幽霊屋敷』小路すず/作 岩崎書店より

“コーヒー牛乳(ミルメーク)”

母がパリにファッションの勉強のために行ってしまった小学5年生の南原椎菜。そのため、祖母のナンシー(南原しのぶ)と一緒に暮らすことになりました。10年ぶりに会った祖母は、なんと探偵になっていたのです。探偵小説好きの椎菜は、気持ちが高まるのをおさえきれません…。



19日(木)『電車でGO! 新幹線を追いかける』豊田巧/作 集英社より “シュウマイ”

トレイン・トラベル・チーム”のメンバー・雄太たちは旅行に出かけようと矢先、駅構内で困っている女の子に遭遇します。解決すべきことは、数十本ある新幹線のなかの乗客から、たった1人を見つけること。無事に解決できるのでしょうか?!

20日(金)『まほうのレシピ』シンディ・キャラハン/作 林啓恵/訳 竹書房より “チリビーンズ”

お料理が大好きな12歳のケリーは、ある日、屋根裏部屋で古いレシピ本を見つけました。本の中身は“うるさい人を黙らせるお菓子”や“人を好きにさせるジュース”と不思議なものばかりです。

